

新たなボランティアコミュニティ構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本直之				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度			
事業実施方法	直営・委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [4 安心を高める(地域力)] 政 策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		〔 福井県県民社会貢献活動推進計画(改訂版) 〕								
[解決すべき問題・課題]															
<p>本県の年齢層別ボランティア行動率において、15歳～24歳の年齢層が全国平均を下回っている。 また、65歳～74歳の年齢層について、全国平均では55歳から64歳の年齢層と比較した場合上昇しているが、本県においては低下している。</p>															
[事業目的]															
<p>人口減少が進む中で、従来の福井県のボランティアの主流である町内会の清掃など無償ボランティアのスタイルに、有償ボランティアのエッセンスを取り入れる社会実験を行い、活動者の自主性ややりがい向上とともに、ボランティア活動の持続可能性を高めていく。</p>															
[事業内容]															
<p>既存のアプリを活用し、ボランティア活動に対する対価として仮想通貨(コイン)をやりとりすることでボランティア活動や助け合いを広げていく社会実験を行う。各団体が抱えるコミュニティ構築に向けた課題解決のためにワークショップを開催し、コミュニティの拡大につながる方法を検証する。</p>															
[アプリ活用のイメージ]															
<p>①電子コインのやり取りにより、助けてもらったり、助けたり、お互いに支え合うアプリ上のコミュニティを構築 ②ボランティア活動や助け合いに対して、お礼としてアプリ上でコインを贈呈 ③獲得コインは、自分が助けてもらいたい時に使用することや、グッズ等に交換することが可能(現金等との交換不可)</p>															
[実施内容]															
<p>①社会実験：コミュニティによる一定期間の社会実験(参加団体：13団体) コミュニティ拡大に向けて、既にコインを導入している団体と同じ共通課題を持つ未導入の団体を募りワークショップを開催 ②全体会議：実験結果の検証、課題整理や専門的見地からアドバイスを受ける ③県の役割：実験参加団体がコミュニティ構築・拡大に取り組む際のワークショップ等の開催支援 専門的な立場からのコミュニティ構築に関するアドバイスを依頼 全体会議の開催による将来的な本格導入に向けた課題整理、関係団体との情報共有</p>															
[受益者] 福井県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	全体会議における意見交換					他県の状況									

新たなボランティアコミュニティ構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本直之			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営・委託											経過年数		
補助率	—											3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,000					1,000								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				949	886	1,000	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ構築、コインを受け渡す際のルール作り等の支援を実施 ・社会実験参加団体へのグッズ購入費経費補助金の廃止 							
2月現計予算額の推移				949	886									
決算額の推移				582										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	社会実験に参加する ボランティアの人数	(目標)		(250)	(500)	(750)			令和2年度は2月末時点					
		実績		398	797									
活動指標	社会実験参加団体数	(目標)		(5)	(13)	(13)								
		実績		8	13									
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
社会実験参加団体13団体 13団体の活動への参加ボランティア500名（2月末）				ボランティアコミュニティ構築を目的とした、ワーク ショップの開催、専門家へのアドバイス依頼を支援の主体 とする。 ボランティア活動のお礼として進呈した電子コインの交換 グッズの購入経費補助金制度の廃止。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

県民ワクワクチャレンジ応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県、ふくい若者フォーラム				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	13,027				13,027							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			11,231	12,028	13,027	公開プレゼンテーション審査会のオンライン配信費用追加 公開プレゼンテーション審査会不採択プランの実行支援費用追加 生涯学習・文化財課から「地域の宝」づくり支援事業(1,000千円)が令和2年度に移管されたため、NPO枠支援金に増額						
2月現計予算額の推移			9,131	11,328								
決算額の推移			8,525									
前年度までの 主な増減理由	NPO枠の増加 クラウドファンディング手数料増											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	【女性枠】 夢の実現に向けチャレン ジする女性の応援者	(目標) 実績	(400) 400	(400) 289	(400)	(40)	(400)	公開審査会における観客審査の参加者数				
成果指標	【若者枠】 地域づくりに新たにチャ レンジする若者	(目標) 実績	(150) 152	(150) 152	(150)	(50)	(150)	応募されたプランへの参加者数				
成果指標	【NPO枠】 新たな地域づくり活動に 参加した県民	(目標) 実績		(100) 75	(100)	(100)	(100)	応募されたプランへの参加者数				
活動指標	応援する活動数	(目標) 実績	(16) 12	(18) 16	(18)	(18)	(18)	女性枠3、若者枠3、NPO枠2、実行支援10				
[事業の評価]												
前年度の実績			実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
若者枠の応募が100万円コースに集中したため、支援金の配分を変更し、若者枠の採択が5プランにとどまったことから、活動指標が達成できなかった。 広報活動を積極的に展開した結果、成果指標は達成できた。			成果指標達成に向けて、新型コロナウイルス感染症対策と並行し、積極的な広報活動を展開する必要があるため、公開プレゼンテーション審査会会場からのオンライン配信に係る経費を要求 公開プレゼンテーション審査会出場プランの実行支援費用を要求				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
							□ 継続	□ 休止	□ 完了			
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

「ふくい若者フォーラム」運営支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県、ふくい若者フォーラム				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託・直営								経過年数	3 年		
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[1 学びを伸ばす(人材力)]			関連する県の計画等		[ふくい創生・人口減少対策戦略]					
	政策	[3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]										
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、まちづくりの次世代のプレーヤーとなる若者がやりたいことにチャレンジできる環境をつくる												
[事業目的]												
若者主体の若者を応援する組織をつくり、若者がやりたいことに思いきりチャレンジできる環境をつくる。 また、若者の活動交流拠点を「見える化」し、日常的な交流を促進することにより、若者の自発的な活動を活発化する。												
[事業内容]												
<p>(1) 「ふくい若者フォーラム」の運営支援・「ふくい若者ステーション」の認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者による地域づくり活動のリーダー層からなる若者の地域活動応援組織「ふくい若者フォーラム」の運営経費を支援 ・地域で活動する若者の交流拠点となっているコワーキングスペースやカフェ等を「ふくい若者ステーション」として認定 <p>(2) 若者の意見交換・人材育成イベント「ふくい若者ミライ会議」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい若者フォーラム主催で、地域で活動する若者の意見交換、人材育成を行う「ふくい若者ミライ会議」を開催 (今年度ミライ会議の参加者の意見を反映し、年2回の開催とする) ・ミライ会議で得られた若者の意見を分析し、次年度の若者フォーラムとしての支援事業を検討 <p>(3) 「ふくい若者ステーション」の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくい若者ステーション」の運営者がふくい若者フォーラムによる若者活動支援に参画し、若者の新たな活動の実現や活動の魅力向上を支援できるような体制を整備 ・「ふくい若者ステーション」の運営者同士が交流するとともに、知見を深め、能力向上につなげる研修兼意見交換会を開催 												
[受益者] 福井県内の若者(18歳～39歳)						[想定される受益者数] 16万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若者チャレンジ応援プロジェクト事業 (実績) 若者チャレンジクラブ登録者数 1085名 若者チャレンジプランコンテスト 活動55プラン実施 若チャレ祭援隊・盛り上げ隊実施 68回参加825名					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県民ワクワクチャレンジ応援事業 (役割分担) 本事業で支援する「ふくい若者フォーラム」が、若者が新たな活動を始める際の支援事業「県民ワクワクチャレンジ応援事業(若者枠)」の実施・運営等を担う						
市町との連携状況						他県の状況						

「ふくい若者フォーラム」運営支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之		
事業主体	県、ふくい若者フォーラム				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	委託・直営									R1 年度			経過年数
補助率	-									3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,436				1,436								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				860	1,132	1,436	北陸新幹線県内開業を見据えたまちづくりのプレーヤーとなる若者人材の育成に主眼 ・ふくい若者ミライ会議の開催回数増 ・ふくい若者ステーションの機能強化経費（若者活動支援参画・運営者向け研修）を要求						
2月現計予算額の推移				860	1,132								
決算額の推移				801									
前年度までの主な増減理由	令和2年度は、「若者による関係人口拡大・元気づくり事業」の若者情報ポータルサイト保守運営経費の統合のため増額												
[成果指標等の推移]													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ふくい若者フォーラムのネットワークに参加する若者の数	(目標)		(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,600)	(1,600)	1グループあたりの構成人数10名				
		実績		1,465	1,548								
活動指標	ふくい若者ミライ会議の開催数	(目標)		(1)	(1)	(2)	(2)	(2)					
		実績		1	1								
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・県民ワクワクチャレンジプランコンテスト（若者部門）の企画運営（公開審査会：7/18） ・ふくい若者ミライ会議の開催（9/5） ・ふくい若者ステーションの認定を実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・ふくい若者ミライ会議の参加者フォローアップのため、ミライ会議を複数回開催 ・ふくい若者ステーションの機能強化として、若者活動支援参画・運営者向け研修を実施 				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

働く女性の活躍支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課		課長名	橋本 直之			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		〔 福井県長期ビジョン、第3次福井県男女共同参画計画 〕								
[解決すべき問題・課題]															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の女性は、家事、育児の負担が男性に比べて大きいため、リーダーになることが難しいと考えている人が多い (H27県民意識調査) ・ 未来きらりプログラムを受講することで、仕事、家庭、ゆとりのバランスの取れたリーダーを育成 															
[事業目的]															
お茶の水女子大学と共同作成・実施する本県女性のためのリーダー育成研修プログラム「未来きらりプログラム」を実施し、女性リーダーの出やすい社会づくりを推進する。															
[事業内容]															
<p>(1) 「未来きらりプログラム」企業リーダーコースの実施 [対象] 県内企業・団体に勤務するリーダー候補女性 30名 [内容] ① お茶の水女子大学連携講座 ② ビジネススキル講座 (4回) ③ 企業が提示する新商品開発等の仮想課題に対する企画提案 (6回) ④ アラカルト講座 (福井の地域特性に合わせた生活学習館で開催される講座を女性一人ひとりの実情に合わせて選択して受講)</p> <p>(2) 「未来きらりプログラム」製造業リーダーコースの実施 [対象] 製造業に勤務する技術職・技能職のリーダー候補女性 15名 [内容] 企業リーダーコース①②④⑤に加え、 ○ものづくりスキルアップ講座 (6回) ・座学 (ものづくり全体像の理解など) ・ロールモデルとなるような女性技術者との交流 ・現地視察研修 (県内外の製造業企業)</p>															
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 18万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	○先駆的な取組みとして注目され、他県にも同様の取組みが拡大 ・愛知県 (H26～ 女性エンパワーメント支援事業) ・富山県 (H25～ 煌めく女性リーダー塾) ・福岡県 (H24～ ふくおか女性いきいき塾)								

働く女性の活躍支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営									H24 年度 経過年数		
補助率	—									10 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,426				3,426							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	2,629	4,377	3,877	3,428	3,426							
2月現計予算額の推移	1,559	3,963	3,877	2,537								
決算額の推移	1,229	3,734	3,666									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ H28年度「未来きらりプログラム」に製造業リーダーコースを創設 ・ H29年度「未来きらりプログラム」に上司力養成コースを創設 ・ H31年度「女性活躍プロジェクトチーム支援事業」を企業の女性活躍推進事業へ移行 ・ R2年度「上司力養成コース」を廃止 											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「未来きらりプログラム」参加者の満足度 (目標) (80%) 実績 92.0%	(80%) 97.0%	(80%) 95.4%	(80%) 3月下旬実施	(80%)			「未来きらりプログラム」受講者アンケートによる				
活動指標	「未来きらりプログラム」受講者数 (目標) (60) 実績 54	(60) 59	(60) 66	(45) 45	(45)							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度「未来きらりプログラム」受講者 企業リーダーコース 34名 (H24～累計 177名) 製造業リーダーコース 11名 (H28～累計 54名) 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくい女性活躍支援センター強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課		課長名	橋本 直之
事業主体		公益財団法人 ふくい女性財団			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[1 学びを伸ばす(人材力)]			関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン、第3次福井県男女共同参画計画]					
[解決すべき問題・課題]												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の女性は、家事、育児の負担が男性に比べて大きいため、リーダーになることが難しいと考えている人が多い (H27県民意識調査) ・ 未来きらりプログラムを受講することで、仕事、家庭、ゆとりのバランスのとれたリーダーを育成 												
[事業目的]												
働く女性の悩みを一つの窓口で解決できるよう、ふくい女性活躍支援センターを設置し、再就職・育休復帰支援機能を中心に強化し、女性リーダーの出やすい社会づくりを推進する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ①キャリア相談員の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性キャリア相談員を配置し、電話や面接による一般相談を実施 ②マッチングアドバイザーの配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、ショッピングセンターなどで就職を希望する女性を確保し相談窓口へ誘導、マッチングを実施 ・ 就職を希望する女性に対して再就職支援セミナーを実施 (年4回) ③求人情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットでの求人情報検索コーナーの設置 ④保育所と子育て支援情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士の資格を持つ保育コンシェルジュの設置 (週3日) ⑤就職支援指導員(チーフコーディネータ)の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業紹介事業所の支援、求人開拓に向けた企業の情報収集、求職者への情報提供、マッチングの実施 ⑥専門機関の出張相談窓口の開設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉介護の仕事相談等 (月2回) ⑦企業との個別面談会の実施 (年2回) 												
[受益者] 就業している女性および就業を希望する女性						[想定される受益者数] 19万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくい女性活躍支援センター強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之			
事業主体	公益財団法人 ふくい女性財団				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開 始 年 度	H19 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託													
補助率														
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,254						13,254							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		12,338	12,525	12,744	13,027	13,254								
2月現計予算額の推移		12,378	12,525	12,744	13,027									
決算額の推移		12,362	12,622	12,831										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	女性活躍支援センターの 支援による就職者数	(110)	(110)	(110)	(110)	(110)			令和2年度は2月末時点					
		実績 111	121	123	51									
活動指標	女性活躍支援センターへ の相談者数	(1,200)	(1,200)	(1,200)	(1,200)	(1,200)			令和2年度は2月末時点					
		実績 1,084	1,278	1,407	857									
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
(令和2年度2月末実績) 来所者数 2,035名 相談者数 857名 就職者数 51件								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

企業の女性活躍推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課		課長名	橋本 直之
事業主体	県、企業団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]	関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン、第3次福井県男女共同参画計画]								
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県は中小企業が多く、女性管理職の割合が低い製造業の企業が多いため、女性管理職の割合が13.6%で全国46位（全国平均16.4%）（H27国勢調査）と低い状況 ・ 働く場で真に女性が活躍するためには、物事を決定し責任ある立場で職責を担う「管理職」を増やすことが重要 												
<p>[事業目的]</p> <p>女性活躍に積極的に取り組む企業を登録する「ふくい女性活躍推進企業」制度を運営し、女性活躍を推進する企業を増加させるとともに、女性管理職の登用促進に積極的な企業経営者の協力を得て、さらに県内企業の女性管理職登用を加速させる。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 「ふくい女性活躍推進企業」登録制度の運営 ・ 女性活躍推進に向けて積極的に取り組む企業を登録、支援</p> <p>(2) 「ふくい女性活躍推進企業」限定の表彰制度 ・ ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰 【個人・グループ部門】対象：職業上の優れた功績を上げた女性・女性グループ 【企業部門】対象：役員、管理職等への女性の登用や育成を積極的に進めているなど、女性活躍推進にかかる取組みについて、顕著な功績を上げた企業</p> <p>(3) 県内企業における女性の管理職登用加速 ①個別コンサルティングの実施および女性管理職候補者向け育成プログラムの構築 ②経営者向け講演会、勉強会の開催</p>												
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 約18万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・ 「ふくい女性活躍推進企業」への登録促進 ・ 企業経営者に対して、講演会および勉強会への参加促進					他県の状況	○全国順位等（※H27国勢調査より） ・ 女性の就業率 52.6% (全国1位) ・ 共働き率 58.6% (全国1位) ・ 女性の管理職比率 13.6% (全国46位)					

企業の女性活躍推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之			
事業主体	県、企業団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	6,894	2,625			4,269		地域女性活躍推進交付金（内閣府）							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		2,956	2,227	2,703	7,149	6,894	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別コンサルティングの実施および女性管理職候補者向け育成プログラムの構築内容見直しに伴う減額 ・ 経営者向け講演会、勉強会の新規開催に伴う増額 							
2月現計予算額の推移		2,434	2,227	2,703	953									
決算額の推移		1,901	1,939	1,926										
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R元年度 女性活躍プロジェクトチーム支援事業補助金を追加（働く女性の活躍支援事業から移行） ・ R2年度 女性活躍プロジェクトチーム支援事業補助金の廃止 「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」制度の新設 												
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	「ふくい女性活躍推進企業」登録企業の女性管理職割合	(目標)				(13.0%)		(20.0%)	福井県長期ビジョン					
		実績	10.4%	12.4%	12.2%	12.2%								
活動指標	「ふくい女性活躍推進企業」登録企業数	(目標)				(300)			令和2年度は2月末時点					
		実績	(180)	(220)	(280)	(280)	284							
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふくい女性活躍推進企業」登録19社 ・ 「ふくい女性のチャレンジ賞表彰」4個人・グループ受賞 ・ 「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」3企業受賞 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個別コンサルティング中止 				個別コンサルティング <ul style="list-style-type: none"> ・ 業種別に対象企業を選定し、業種ごとの特色（男女比が異なるなど）を反映させたモデルを構築 ・ 確立したモデルを県内のコンサル実施企業以外の企業に事例として例示 ・ 県内企業に具体的な管理職の登用方法を周知 				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

共家事（トモカジ）促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之		
事業主体	県、県内企業、任意団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営										経過年数		
補助率	—										2 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[1 学びを伸ばす(人材力)]				関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン、第3次福井県男女共同参画計画]					
	政策	[3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]											
[解決すべき問題・課題]													
本県は、女性の共働き率（56.8% 全国1位）が高く働く女性が日本一多い一方で、家事等の負担は、女性に偏っており（正規職員の1日の家事・育児・介護時間（週平均） 男性21分、女性141分 男女差120分（差が大きい方から全国1位））、女性が管理職を目指す障壁にもなっている。													
[事業目的]													
女性の社会進出と男性の家庭進出を表裏一体のものと捉え、夫婦・家族と一緒に家事を楽しむ「共家事（トモカジ）」を家庭のライフスタイルとして定着させる。													
[事業内容]													
<p>(1) 「共家事促進店舗・団体」との協働キャンペーン 「共家事」普及活動を行う県内量販店等を「共家事促進店」として登録し、県内のあらゆる地域で1年を通して共家事を促進</p> <p>① 「共家事促進店」等への促進グッズ提供等による共家事普及活動 ・統一デザインを用いたポップやポスター、家事の「見える化」リーフレット作成</p> <p>② 「共家事促進」キャンペーンの実施（11月） ・「共家事促進店」等で配布する「見える化」リーフレットにより夫婦や家族で家事の見える化チェックを行うとともに「我が家の共家事」アイデアを募集応募の中から、金賞：1件、銀賞：5件、銅賞：30件を選定し、時短家電等を提供</p> <p>(2) 新婚世帯向け「共家事」講座の実施 NPO法人等や有識者を講師とし、「共家事」を新婚世帯に普及するための講座を開催 【内容】 男性の家事・育児参加の促進、男性の育児休暇について 等 【件数】 年間8件（15組（30人）×8回＝120組（240人）対象を想定）</p> <p>(3) 女性活躍推進企業への「共家事」普及 女性活躍推進企業内へ「共家事」促進ポスター、リーフレットを配布し、社内での普及推進を依頼</p>													
[受益者] 福井県民						[想定される受益者数] 約78万人							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 働く女性の負担軽減促進事業 (実績) ・「共家事」促進イベント実施企業 10社					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 男女共同参画計画推進事業 (役割分担) 共家事「見える化」リーフレットを広報および啓発材料として作成					
市町との連携状況						他県の状況		富山県「家族でハッピー！家事・育児分担キャンペーン」					

共家事（トモカジ）促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之		
事業主体	県、県内企業、任意団体				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率	—									2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	827	351			476	地域女性活躍推進交付金（内閣府） 地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				1,084	827	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共家事「見える化」リーフレットを他事業予算で執行するため減額 ・ 本年度新規に開始する、新婚世帯向け「共家事」講座の実施のため増額 							
2月現計予算額の推移				979									
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	「共家事促進店」登録店舗数	(目標)		(100)	(100)								
		実績		104									
活動指標	「共家事促進」キャンペーンリーフレット配布数	(目標)		(10,000)	(10,000)								
		実績		11,000									
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
共家事「見える化」リーフレットを活用したアンケート 応募数 295件				「共家事促進店」においては、共家事「見える化」リーフレットを通年で設置。また、「ふくい女性活躍推進企業」にもリーフレットを配布し、さらなる共家事促進を図る。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

地域の縁結び活動応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営、委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政 策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[福井県子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策!]								
[解決すべき問題・課題]															
結婚を希望している県民への出会いの機会提供															
[事業目的]															
地域においてボランティアで結婚を望む若者のサポートを行う「地域の縁結びさん」を登録、お相手紹介やお見合い設定など地域における1対1の出会いの支援を行う。また、大阪で開催される移住・定住フェアにおいて、活動PRを行い、県外在住者と県内独身者の出会いの機会を創出する。															
[事業内容]															
(1) 地域の縁結びさんの登録・募集説明会 (2) 情報交換会・相談会の開催 (ア) 情報交換会 独身者のマッチングを進めるため広域の情報交換を実施 (イ) 相 談 会 県主催の定例相談会(月1回)と嶺南における出張相談会(年2回)を開催(独身者対象) (3) 活動促進 縁結びさんや縁結びさん有志のグループに対し、活動費の一部を支給 成婚1件ごとに記念品を贈呈し、累計5件以上となった方に知事感謝状を贈呈 (4) U・Iターン縁結びカフェ開設 大阪で開催されるふくい移住・定住フェアに、結婚応援ブースを出展し、結婚支援事業のPR、地域の縁結びさんによる結婚相談等を実施 (5) スキルアップ研修の開催 若者の行動様式や結婚・子育てに関する意識などについて学ぶ研修会を開催することで、アドバイス力を高める															
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 オールふくい連携婚活応援事業 (役割分担) 婚活サポートセンターのマッチングシステム登録会員が希望する場合に、縁結びさんによるサポートを実施								
市町との連携状況	・市町主催イベントに縁結びさんがサポーターとして参加 ・婚活応援ポータルサイト「ふくい婚活カフェ」で市町主催イベントの情報を掲載 ・市町広報誌で県実施事業の広報					他県の状況	・生涯未婚率(H27年総務省・国勢調査) 福井県 男性19.19%(3位) 女性8.66%(1位) 全 国 男性23.37% 女性14.06% ・平均初婚年齢(R1年厚労省・人口動態統計) 福井県 男性30.8歳(20位) 女性29.2歳(18位) 全 国 男性31.2歳 女性29.6歳 ・婚姻率(R1年厚労省・人口動態統計) 福井県 4.4(23位) 全 国 4.8								

地域の縁結び活動応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H22 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、委託									H22 年度			経過年数
補助率	—									12 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,384					3,384							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		7,325	7,546	3,238	3,384	3,384							
2月現計予算額の推移		6,570	4,913	3,238	3,384								
決算額の推移		6,043	3,651	2,784									
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度 「ふくい縁結び学校」休止に伴う減額 ・ 令和2年度 U・Iターン縁結びカフェ開設にともなう増額 											
[成果指標等の推移]													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	成婚実績 (目標)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	令和2年度は12月末時点				
	実績	36	45	49	37								
活動指標	地域の縁結びさん登録数 (目標)	(250)	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)	令和2年度は12月末時点				
	実績	262	280	291	291								
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
定例情報交換会7回、地区別情報交換会3地区×各3回 定例相談会8回、出張相談会(嶺南)2回 お見合い実施 974回(12月末) 成婚件数 37件(12月末)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

職場の出会い応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		〔 福井県子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策! 〕								
[解決すべき問題・課題]															
未婚化・晩婚化の進行、出会いの機会の創出															
[事業目的]															
未婚化・晩婚化が進行していることから、より一層の若者の出会いの応援が必要であるため、「ふくい結婚応援企業」を登録し、企業内で従業員の結婚を応援する「職場の縁結びさん」の設置等により、職域での縁結び活動を拡大する															
[事業内容]															
職場の縁結びさんの設置 ①「ふくい結婚応援企業」の登録 令和3年2月末時点登録数 383社 ②企業内で従業員の結婚を応援する「職場の縁結びさん」を設置する。1企業に1名以上配置。 令和3年2月末時点登録数 581人 (ア)対象者：30～40代後半の既婚者 (イ)役 割：①県から送付される婚活カフェメールマガジンなどの婚活イベント情報を、社内の若手従業員に提供 ②複数企業の職場の縁結びさん同士が連携し、交流会等を開催 ③お見合い相手の紹介															
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若手社員の交流推進事業 (役割分担) 本事業で「ふくい結婚応援企業」を増やし、若手社員の交流推進事業で企業間交流を促進する。								
市町との連携状況	市町主催事業を企業へ情報提供					他県の状況	・生涯未婚率 (H27年総務省・国勢調査) 福井県 男性19.19% (3位) 女性8.66% (1位) 全 国 男性23.37% 女性14.06% ・平均初婚年齢 (R元年厚労省・人口動態統計) 福井県 男性30.8歳 (20位) 女性29.2歳 (18位) 全 国 男性31.2歳 女性29.6歳 ・婚姻率 (R元年厚労省・人口動態統計) 福井県 4.4 (20位) 全 国 4.8								

職場の出会い応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	286	143				143	地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,689	604	535	386	286	ふくい結婚応援企業統一ロゴマーク作成委託業務の完了に伴う減 △100千円					
2月現計予算額の推移		2,161	604	535	386							
決算額の推移		1,734	324	227								
前年度までの主な増減理由		・令和元年度で職場の縁結び普及員の設置による結婚応援企業登録呼びかけを終了 △250千円										
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	交流人数	(目標) (1,000)	(2,000)	(2,300)	(2,400)	(2,500)	(3,000)	(3,000)	ふくい結婚応援企業における企業間交流会等参加人数			
		実績 1,083	2,319	2,429	136							
活動指標	ふくい結婚応援企業登録数	(目標) (250)	(300)	(350)	(400)	(450)	(500)	(500)				
		実績 252	316	371	383							
	職場の縁結びさん登録数	(目標) (375)	(470)	(520)	(570)	(620)	(650)	(650)				
		実績 417	494	565	581							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
令和2年度 ・交流人数：136人 ・ふくい結婚応援企業383社 ・職場の縁結びさん581名				新型コロナウイルス感染症の影響で企業が交流会の開催を控えたため、交流人数の目標を下回った。 今年度予算では新たに、コロナ禍においても安心して若手社員が交流できるオンライン異業種交流会を開催（若手社員の交流推進事業）し、交流人数の増加を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 100	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若手社員の交流推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	H30 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託			事業開始 年度					経過年数		
補助率	—			4 年							
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[福井県子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策!]				
[解決すべき問題・課題]											
未婚化・晩婚化の進行、出会いの機会の創出											
[事業目的]											
中小企業が多い本県では、社内で出会いの機会が少ないため、他社との交流により出会いの機会を増やす必要がある。県内企業団体と協力し、企業間交流を促進する専任の担当をおき、若手社員の成婚につなげる。											
[事業内容]											
専任の担当（企業間交流婚シェルジュ）が職場の縁結びさんを取りまとめ、相談対応や交流の機会の提供により、その活動をサポートする。また、職場の縁結びさんの講習会・交流会を開催し、縁結びさんのスキルアップと交流促進を図る。											
(1) 企業間交流の促進 ① 応援企業の従業員を対象にした企業間交流セミナーの開催（3回シリーズ×1回 計3回） ・ ビジネスマナーやライフプランなどをテーマに専門家を招いた講演とワークショップの実施および交流会開催 ② 応援企業の従業員を対象にした交流イベント（スポーツ大会やBBQ大会など）の開催（年1回程度） ③ 応援企業に交流を促す営業活動および問い合わせ対応 ④ コロナ禍においても安心して若手社員が交流できるオンライン異業種交流会を開催（年間12回程度）											
(2) 職場の縁結びさんのスキルアップと交流支援 職場の縁結びさんを対象に、支援活動のスキルアップや縁結びさん同士の交流促進を目的とした講習交流会を開催する。（年2回）											
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 職場の出会い応援事業 (役割分担) 職場の出会い応援事業で「ふくい結婚応援企業」を増やし、本事業で企業間交流を促進する。				
市町との連携状況	市町主催事業を企業へ情報提供					他県の状況	・生涯未婚率（H27年総務省・国勢調査） 福井県 男性19.19%（3位） 女性8.66%（1位） 全 国 男性23.37% 女性14.06% ・平均初婚年齢（R元年厚労省・人口動態統計） 福井県 男性30.8歳（20位） 女性29.2歳（18位） 全 国 男性31.2歳 女性29.6歳 ・婚姻率（R元年厚労省・人口動態統計） 福井県 4.4（20位） 全 国 4.8				

若手社員の交流推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,153	2,576			2,577		地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			5,069	4,797	5,363	5,153								
2月現計予算額の推移			5,069	4,797	5,315									
決算額の推移			5,068	4,721										
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度に講師・司会謝金の見直しによる減額 ・ 令和2年度に大規模異業種交流会の開催を追加 													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	交流人数 (目標)		(2,000)	(2,300)	(2,400)	(2,500)	(3,000)	(3,000)	ふくい結婚応援企業における企業間交流会等参加人数					
	実績		2,319	2,429	136									
活動指標	企業間交流会開催数 (目標)		(75)	(100)	(125)	(150)	(200)	(200)						
	実績		81	108	7									
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
ふくい結婚応援企業における交流会開催数および交流人数 開催数：7回 交流人数：136人			新型コロナウイルス感染症の影響で企業が交流会の開催を控えたため、交流会開催数、交流人数ともに目標を下回った。 今年度予算では新たに、コロナ禍においても安心して若手社員が交流できるオンライン異業種交流会を開催し、交流人数の増加を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

結婚支援市町応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	間接補助、補助金											
補助率	国10/10、2/3、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[1 学びを伸ばす(人材力)] [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[福井県子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策!]				
[解決すべき問題・課題]												
未婚化・晩婚化の進行、出会いの機会の創出												
[事業目的]												
市町における様々な出会いの機会の創出や、結婚・子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に関する取組みを支援することにより、結婚を希望する若者を応援する。												
[事業内容]												
市町が行う下記の事業に対し、国の交付金を交付する。 (1) 地域少子化対策重点推進事業 2,762千円 少子化対策事業(「結婚に対する取組」および「結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組」)について、優良事業の横展開を支援する。 ・補助率 2/3、1/2 ・交付上限額 中核市 2,000万円(事業費ベース3,000万円)、市町 1,000万円(事業費ベース1,500万円) (2) 結婚新生活支援事業 61,750千円 結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを軽減するために自治体が行う取組(新婚世帯を対象に家賃・引越費用等を補助)を支援する。 ・補助率 2/3、1/2 ・補助上限額 1世帯当たり600千円 ・対象世帯:夫婦共に39歳以下かつ世帯所得400万円未満の新規に婚姻した世帯 (3) U25夫婦への支援金 18,000千円(令和2年度2月補正計上、令和3年度に繰越・事業実施) 結婚新生活支援事業に取り組む自治体の25歳以下(U25)夫婦に対し、市町を通じ県から支援金を支給する。 ・補助率 10/10 ・補助上限額 1世帯当たり100千円 ・対象世帯:(2)結婚新生活支援事業に取り組む自治体における国の制度対象世帯のうち、両方またはいずれかが25歳以下の夫婦世帯 ・対象世帯数見込み:180世帯												
[受益者] 20~49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 結婚新生活支援事業 (実績) ・内閣府「結婚新生活支援事業費補助金」間接補助事業 28年度 交付決定1件(高浜町) 実績額0円 ・29年度に内閣府「地域少子化対策重点推進交付金」に統合					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 共家事(トモカジ)促進事業 (役割分担) 新婚世帯に向けて「共家事」講座を実施(結婚新生活支援対象世帯は受講必須)				
市町との連携状況	当事業は、市町への補助・間接補助事業である					他県の状況		・内閣府 地域少子化対策重点推進交付金 令和3年度執行分予算 20億円				

結婚支援市町応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	間接補助、補助金											
補助率	国10/10、2/3、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	64,512	64,512					0 地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			7,094	4,746	2,298	64,512	・結婚新生活支援事業実施予定市町の増（R2：0市町→R3：6市町） 61,750千円増					
2月現計予算額の推移			860	875	18,476							
決算額の推移			695	728								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 内閣府「結婚新生活支援事業費補助金」が同「地域少子化対策重点推進交付金」に統合され、1つの事業として運用開始 ・予算額は、交付金の活用に関する市町意向調査の結果により決定 ・令和2年度2月補正 U25夫婦への支援金を計上（令和3年度へ繰越） 										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	結婚新生活支援事業実施市町					(6)	—	—				
活動指標	採択市町数		2	2	4		—	—				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
①地域少子化対策重点推進交付金 ・福井市「出愛♥恋々（であいこいこい）応援事業」 総事業費 453,000円（うち交付金 226,000円） ・坂井市「未婚者の出会いを目的としたイベント実施事業」 総事業費 400,000円（うち交付金 200,000円） ②結婚新生活支援事業費補助金 ・実績なし				結婚新生活支援事業実施予定市町が増加するとともに、新たにU25（25歳以下）夫婦への支援金を実施し、結婚新生活支援事業実施市町のさらなる増加および婚姻件数の増加を図る。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

オールふくい連携婚活応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体		ふくい結婚応援協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[1 学びを伸ばす(人材力)]		関連する県の計画等		[福井県子ども・子育て支援計画/ふくい創生・人口減少対策!]					
[解決すべき問題・課題]												
結婚を希望している県民への出会いの機会提供 若い世代の婚活参加促進												
[事業目的]												
県と市町からなる「ふくい結婚応援協議会」が運営する「ふくい婚活サポートセンター」において、若い世代のニーズにあった婚活サービスであるAIを活用したマッチングシステムの運用や広域的な婚活イベントを開催するなど、オールふくい体制による婚活支援を進めることで、県民の結婚を応援する。												
[事業内容]												
(1) センターにおける支援体制の整備 センター長(協議会事務局長)および事務職員(2名)の配置 ※(2)～(5)の業務を実施 (2) 会議開催 県・市町・関係団体等による連携事業の検討・実施のための会議を開催 総会(1回)、臨時総会(2回) (3) マッチングシステムの運用 スマートフォンやパソコンを利用していつでも婚活ができるマッチングシステムの運用に係る保守経費 出張登録会の開催 (4) 婚活イベントの開催 県全域を対象とした婚活イベント、県外からの移住希望者向け婚活イベント、会員向けイベント等を開催 (5) 結婚・婚活にかかる情報発信 ホームページ、テレビ、雑誌等の広報媒体により、イベント情報等を定期的に発信												
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町と連携して結婚支援を進めるための協議会を設立 ・支援拠点となるセンターを設立、運営					他県の状況	・33の都道府県が結婚支援センターを設置 ・26の都道府県がマッチングシステムを運用					

オールふくい連携婚活応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	ふくい結婚応援協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	20,409	13,606			6,803		地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					32,102	20,409	マッチングシステム構築完了に伴う減額					
2月現計予算額の推移					31,170							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	成婚実績（組） （目標） 実績				-	(20)	(30)	(30)	システム登録者の成婚実績			
活動指標	マッチングシステム登録者 （目標） 実績				(200) 397	(400)	(1,000)	(1,000)	令和2年度は2月末時点			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
R2. 4.10 ふくい結婚応援協議会設立 R2. 11.22 ふくい婚活サポートセンター開設 マッチングシステムの登録者数 397人（2月末）				令和2年度はセンターの開設とシステムの構築を実施 令和3年度からは広域的なイベントを開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 11,693	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

大学生対象ライフデザイン講座開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[福井県子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策!]								
[解決すべき問題・課題]															
若者に対する結婚・出産についての意識醸成															
[事業目的] 未婚化・晩婚化の進行と並行して、若者の結婚、恋愛への関心が薄れており、結婚を希望する若者の割合が低下している（結婚・子育てニーズ調査）。大学のキャリア支援部門と協力し、就職に向けたキャリアデザインの一環として、ライフデザイン形成のためのセミナーを開催し、若いうちに自らのライフプランを考えることによって将来の結婚や出産への意識づけを行う。また、このセミナーにおいて、結婚・子育て環境に恵まれた福井の良さを伝え、本県への定住促進にもつなげる。															
[事業内容] 大学講義におけるライフデザインセミナー実施 大学キャリアセンター等が開催するキャリアデザインの講義科目内で、県から派遣する専門講師によるライフデザインセミナー（2回）を実施 対 象：講座受講生（大学1～2年生） 実施大学：嶺北・嶺南で各1校予定 内 容：結婚・出産を含めたライフデザイン・キャリアデザイン、妊娠適齢期等の知識、福井の優れた結婚・子育て環境の紹介等 （例）講義「キャリアデザイン」（単位科目・80名受講見込）															
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人（H27年度国勢調査）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）								
市町との連携状況	県で実施するライフデザイン講座の内容を情報提供					他県の状況	・生涯未婚率（H27年総務省・国勢調査） 福井県 男性19.19%（3位） 女性8.66%（1位） 全 国 男性23.37% 女性14.06% ・平均初婚年齢（R1年厚労省・人口動態統計） 福井県 男性30.8歳（20位） 女性29.2歳（18位） 全 国 男性31.2歳 女性29.6歳 ・婚姻率（R1年厚労省・人口動態統計） 福井県 4.4（23位） 全 国 4.8								

大学生対象ライフデザイン講座開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	330		165			165		地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）						
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					303	330	R3: ロールモデルとなる事例紹介を追加							
2月現計予算額の推移					300									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	受講者数 (目標)				(160)	(160)								
	実績				141									
活動指標	講座開催数 (目標)				(2)	(2)								
	実績				2									
[事業の評価]														
前年度の実績					実績を踏まえた令和3年度の変更点					事業評価				
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

三方五湖エリア活性化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之							
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度						
事業実施方法	補助																	
補助率	1/2																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]					関連する県の計画等		[福井県子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策!]										
[解決すべき問題・課題]																		
嶺南地域における結婚の機運醸成に資する施設の整備																		
[事業目的]																		
北陸新幹線開業時の重要な交流拠点となる三方五湖エリアにおいて、県・町・地元が一体となって観光の目玉づくりを加速させることにより、誘客を促進する																		
[事業内容]																		
三方五湖エリアにおける結婚・婚活拠点となるウエディングドレスミュージアムの整備に対する支援 (ミュージアム概要) ・ドレスミュージアム ・フォトオフィス (コレクションの中から選んだドレスを着て撮影可能。レインボーライン山頂での撮影も可) ・ミュージアムカフェ、ショップ ・イベントブースや三方五湖エリアにおいて婚活イベントやフォトウエディングを開催																		
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人												
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 オールふくい連携婚活応援事業 (役割分担) ミュージアムの活用 (婚活イベント等の開催)											
市町との連携状況	当事業は、市町への補助事業である					他県の状況	・生涯未婚率 (H27年総務省・国勢調査) 福井県 男性19.19% (3位) 女性8.66% (1位) 全 国 男性23.37% 女性14.06% ・平均初婚年齢 (R1年厚労省・人口動態統計) 福井県 男性30.8歳 (20位) 女性29.2歳 (18位) 全 国 男性31.2歳 女性29.6歳 ・婚姻率 (R1年厚労省・人口動態統計) 福井県 4.4 (23位) 全 国 4.8											

三方五湖エリア活性化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之			
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	補助													
補助率	1/2													
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	35,000						35,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						35,000								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績													
活動指標	ミュージアムの整備 (目標) 実績					(1)								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				